

各自治体・各企業各位

# 内閣府地方創生SDGsプラットフォーム 地方創生事業マッチング

内閣府地方創生応援税制を活用した  
「0歳からの立腰(りつよう 腰骨を立てる)・  
体幹遊び」<sup>®</sup>で運動能力を高め、学力も向上！

ご参画のお願い

令和4年10月12日、ソリューション登録承認

<https://match.future-city.go.jp/pages/platform/c301/2200317>

令和5年1月

公益社団法人マナーキッズ<sup>®</sup>プロジェクト

# 構成

1. 設立の背景(課題)と取り組み 3P
2. 「0歳からの立腰・体幹遊び」とは 4P
3. 実践プログラム 5P
4. 実践後の効果 6P
5. 地方創生SDGs事業マッチング構想 7～8P
6. ○○市「三つ子の魂百まで」プロジェクト  
(仮称)展開策案 9～13P
7. 企業版ふるさと納税の使途(案) 14P
8. 目指すもの 15P

# 1. 設立の背景(課題)と取り組み

日本の子供・若者の憂慮すべき現代的(社会的)課題をこのまま放置していいのだろうか？

(1992年学研『今「子供」が危ない』の警告)

- ◆ 運動不足が深刻 → 「体幹」が鍛えられておらずケガする子が増
- ◆ 姿勢が悪い → 健康、脳に影響
- ◆ 食生活の変化 → アレルギー、不妊症、奇形児等
- ◆ 残念な社会現象 → いじめ、暴力、不登校、学級崩壊等

早稲田大学庭球部小学校テニス教室の開催、小笠原流礼法との出会い  
47都道府県、台湾、マレーシアにおいて延べ130万人の園児・児童が参加

活動25年を経て、「三つ子の魂百まで」プロジェクトの  
「0歳からの立腰・体幹遊び」<sup>®</sup> に辿り着く  
＜マハティール首相が賛同され、マレーシアへの展開を検討した＞

# 2. 「0歳からの立腰・体幹遊び」<sup>®</sup>とは？

立腰

教育哲学者  
森信三氏



千葉敬愛短期  
大学長  
明石要一氏  
提言



小笠原流礼法  
鈴木万亀子氏



美しい姿勢・挨拶

キマナー  
調ベズ

日本サッカー協会  
川淵三郎氏  
提言



体幹遊び

食と健康財団  
道見重信氏



食と健康

# 3. 実践プログラム

## 毎日の立腰タイム

授業の始めと終わりの挨拶を通して体幹を鍛える  
(実践プログラムA)



起立 礼 着席

学校生活において身体活動量を増やして体幹を鍛える  
(実践プログラムB)



ケンケン相撲など

朝の会等での運動を通して体幹を鍛える  
(実践プログラムC)



タオルを使った運動など

立腰・体幹を鍛えることにより、「正しい姿勢」が身につく

# 5. 実践後の効果

＜体・徳・知＞バランスの「取れた人材育成

## ①子供の体幹を鍛える研究 (東京都教職員研修センター 早稲田大学スポーツ科学学術院)

- ◆ 立位姿勢は、頭と首の位置が後ろに動き、猫背傾向が改善
- ◆ 座位で「良い姿勢」の児童が増加。体幹が鍛えられ、座った姿勢に気を付け意識が働く
- ◆ 姿勢の良い小学生は自己抑制が高い傾向、中・高校生は学習が楽しい感じている傾向

## ②「マナーキッズ」を市民科授業に 取入れて(品川区立浜川小学校)

- ◆ 朝、昼15分間、全校朝会、児童集会、授業の最初と最後ほか様々な場面でマナーキッズの礼法を実践
- ◆ CRT(学力定着度調査)は、H22年はH21年より全学年で大きく向上。中学年以上のアンケート調査でも、学習・生活規律が身につけている児童は、身につけていない児童より、一年間で大きく学力が向上した。

戸越小学校「規範意識の向上と定着」により、学力が大きく向上

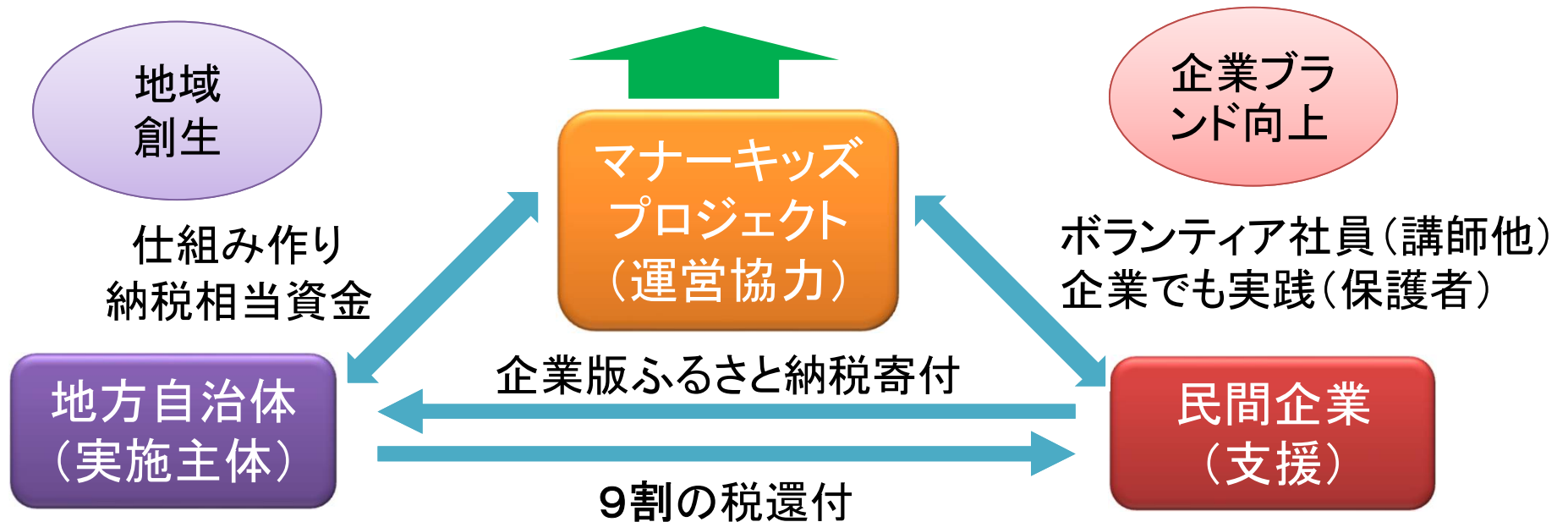
## ③日本体力医学会大会の発表(上武大学教授, 筑波大学名誉教授 大森肇他)

- ◆ 3歳児に週3回、3か月の模倣運動を行った結果、運動した群は、しない群より言語検査得点の伸びが大きかった
- ◆ 小学校5年生32人にマナーキッズ教室を実施。前後で「気分プロフィール検査」の結果、混乱、緊張・不安、抑うつ・落ち込み、怒り・敵意等が低下した

# 5. 地方創生SDGs事業マッチング構想

地方自治体が実施主体、民間企業は企業版ふるさと納税制度を活用し、マナーキッズと事業マッチングで「健康と福祉 (SDGs3)」と「みんなに教育 (SDGs4)」に貢献

「三つ子の魂百まで」プロジェクトの推進強化・拡大



こども家庭庁(マッチング事業の制度・基盤の構築を目指す)R5年4月発足

# 企業版ふるさと納税概要

寄付額

企業版ふるさと納税

通常の寄付

損金算入  
約3割

税額控除

最大6割

企業負担  
約1割

例 1,000万円寄付すると、最大約900万円の法人関係税が軽減

企業にとって「企業版ふるさと納税」活用のメリット

## 社会貢献

・SDGsへの寄与・創業地等の地域への恩返し・事業への貢献

## 事業展開

・企業のPR・地方公共団体との新たなパートナーシップの構築

・事業参加で社員の新たな経験に



## 6. ○○市「三つ子の魂百まで」プロジェクト展開策(案)

---

### ①「0歳からの立腰・体幹遊び」講師養成講習会兼講座の募集と開催

保育士、教諭、保護者等を対象に対面とオンデマンドで開催する。  
第1回は、R4年10月1日(土)～10月10日(月) 10P参照

### ② ○○市の目標設定

いじめ、不登校、暴力行為、骨折、発達障害、アレルギー、  
体力の向上、学力の向上、医療費の削減目標値(3年後、5年後、  
10年後)を設定。 11P参照

### ③ 実践の際、実績効果をデータにしてフォロー

「立腰・体幹遊び実績表」及び「子育て保護者の講座受講比率表」、  
「実施実績表」 12～13P参照

### ④「三つ子の魂百まで」奨励金(年10万円程度)

上記(3)のフォロー結果、高い達成率の個人、団体に支給。

# 7. 「0歳からの立腰・体幹遊び」オンデマンド配信 講師養成講習会兼講座のご案内 (対面式講師養成講習会兼講座もあります)

①講習会兼講座の趣旨・狙い	マナーキッズプロジェクト理事長 田中日出男
②0歳からの立腰教育	福岡市清水保育園園長 江寄尚子
③0歳からの体幹遊び	根本わくわく体操教室代表 根本正雄 甲斐市あおぞら保育園園長 村井つかさ
④子供の体幹を鍛える大切さ	マナーキッズプロジェクト最高顧問 川淵三郎
⑤運動遊びが子供の脳と体を鍛える	安田式体育遊び研究所長 居関達彦
⑥日本の伝統的な美しい姿勢・挨拶	小笠原流礼法的伝総師範 鈴木万亀子
⑦家庭内の躰	小笠原流礼法的伝総師範 鈴木万亀子
⑧「マナーキッズ」調べ	千葉敬愛短期大学学長 明石要一
⑨食と健康	食と健康財団前理事長 道見重信
⑩子供の体幹を鍛える研究	早稲田大学スポーツ科学学術院教授 間野義之
⑪幼児期の言語機能に及ぼす模倣運動の影響	上武大学教授、筑波大学名誉教授 大森肇
⑫規律正しい児童は学力も大きく向上する	品川区立浜川小学校

# 〇〇市目標値の設定



項 目	現在数値	3年後目標値	5年後目標値	10年後目標値
いじめ				
不登校				
暴力行為				
骨折				
発達障害				
アレルギー				
体力の向上				
学力の向上				
医療費の削減				

立腰・体幹遊び採用園、小学校の目標値の設定

# 立腰・体幹遊び 実績表

〇〇保育園 〇〇組



項目		実績		
立腰	毎日の立腰タイム	できた	概ねできた	できなかった
	授業の際、食事の際に立腰			
	挨拶は自分からする			
	返事は「ハイッ」とはっきりする			
	履物は揃える、椅子は入れる			
体幹遊び	授業の始めと終わりの挨拶を通して体幹を鍛える			
	体育の時間等において身体活動量を増やして体幹を鍛える			
	朝の会等での運動を通して体幹を鍛える			
「マナーキッズ」調べ	「言葉」「お辞儀・挨拶」「歩き方・姿勢」「生活」「社会規範」を親子でチェック			
食と健康 (任意)	健康の鍵は、5歳位までに決まる腸内細菌。日本の食文化の原点に立ち戻ろう。食事の改善に挑戦			

	できた	概ねできた	できなかった
講座受講比率	90%～100%	70%～89%	69%以下

## 子育て保護者の「0歳からの立腰・体幹遊び」実施実績

項目		実績		
		できた	概ねできた	できなかった
立腰	食事の際に立腰を実践している			
	挨拶は自分からする			
	返事は「ハイッ」とはっきりする			
	履物は揃える、椅子は入れる			
体幹遊び	親子で一つの項目でも毎日実践している			
「マナーキッズ」調べ	70点以上が合格です。70点以下でも1点でも向上すれば合格です			
食と健康	腸内細菌の重要性を理解しています。			
	食事の改善に挑戦しています			

## 8. 企業版ふるさと納税寄付金の使途(案)

---

- ①「0歳からの立腰・体幹遊び」講師養成講習会兼講座開催費と参加費の補助
- ②講師養成講習会認定証の所持者で「0歳からの立腰・体幹遊び」で高い実績をあげた保育士、教諭、指導者他に、「三つ子の魂」奨励金の支給
- ③「外遊び空間の整備」他の助成
  - ・保育園、幼稚園園庭の芝生化➡裸足で遊び、体幹を鍛える
  - ・公園等に運動設備常設➡3世代の交流の場に
- ④子ども食堂の運営費用

詳しくは、

企業版ふるさと納税ポータルサイト

検索

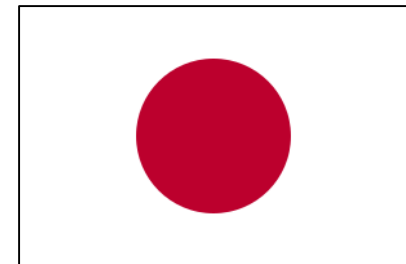


## 9. 目指すもの

---

- ◆国、地方自治体、企業、保育士、教諭、指導者、保護者は強い志をもって粘り強く実践し、
- ◆体・徳・知のバランスのとれた人材育成により、
- ◆いじめ、暴力、不登校等の現代的(社会的)課題を克服すると共に、
- ◆世界の人々から尊敬される日本人に！

「愛くるしい日本国民の微笑、類なき礼節、上品で果てしないお辞儀と明るく優美な表情には、はるかに心よさを覚えます」  
(明治時代、米のシモドア女性記者の日本記より)



お問い合わせ先


166-0002東京都杉並区高円寺北3-22-3デルコホームズ4階

03-3339-6535 [office365@mannerkids.or.jp](mailto:office365@mannerkids.or.jp)

<http://www.mannerkids.or.jp/>

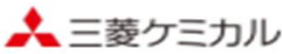
後援：スポーツ庁、日本商工会議所、公益財団法人日本スポーツ協会（文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦）、公益財団法人日本オリンピック委員会（文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦）他

特別協賛

 MUFG 株式会社 三菱UFJ銀行

協賛























賛助



























